

学術事業報告

学発番号：学13-014

研修会名：京都府技師会血液講演会

日 時： 平成25年6月15日

場 所： キャンパスプラザ京都

主 題1： Case study 16

講 師1： 平川正貴(京都第二赤十字病院)

主 題2： 免疫グロブリン遊離L鎖  $\kappa/\lambda$  比(フリーライトチェーン)の臨床意義と測定法について

講 師2： 細谷美奈(株式会社エスアールエル) 新井次郎(MBL株式会社)

参加数： 総数33人(日臨技会員:25人)

報告者： 中西加代子(京都大学医学部附属病院)

以下、講演内容など

京都第二赤十字病院の平川正貴氏より、Case study 16として胃癌の骨髄転移症例の提示があった。血小板減少と紫斑を主訴とする患者で初診時はITP疑いであったが、骨髄検査により癌の骨髄転移が診断された症例であった。骨髄標本の詳細な観察と他の検査所見の確認が重要であると思われた。

株式会社エスアールエルの細谷美奈先生とMBL株式会社の新井次郎先生には、免疫グロブリン遊離L鎖  $\kappa/\lambda$  比(フリーライトチェーン)の臨床意義と測定法についてとして、Free Light Chainアッセイの臨床意義と有用性について、大変わかりやすくお話しいただいた。Free Light Chainは感度が高くさらに半減期が短いことで治療効果判定と経過観察に有用であることを詳しく説明された。また測定原理や実際の測定法についても詳細に解説いただいた。大変勉強になりとても有意義な講演会であった。

協賛:株式会社エスアールエル